

校長室だより 5月号②

日本、いや世界中では、まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大が心配されています。徳島県においては緊急事態宣言が解除され、学校も段階的に再開され、少し落ち着いてきているように思われますが、油断はできません。これからも、3つの密が重ならないようにし、手洗い・うがいをまめに、そしてマスクの着用も習慣づけなければ、と思います。しかし、学校が再開されて、本当によかったです。(本格的な学校再開は6/1からとなりますが)やはり、小学校には、子どもたちの輝くような笑顔と元気のよい声が似合います。この当たり前のような光景を大切にしていきたいです。

保護者のみなさま、2ヶ月半の臨時休業中(春休みも含みますが)、たくさんのご負担・ご心配をおかけしたと思います。子どもたちの支援や見守り、ありがとうございました。そして、大変なこともたくさんあったと思います。子どもたちには、健康・安全に気をつけ、この臨時休業の分を取り返すぐらい学校生活を楽しんでほしいと思います。

西麻植小に、子どもの元気な姿がもどってきました



教室では、常に換気をし、机の間隔を十分とっています。もちろん、全員マスク着用です。3密にならないように・・・。

5/17 古紙回収、お世話になりました

みなさまのおかげで、例年より多くの量を回収することができました。ありがとうございました。今年の連休はステイホームということで、お家のそうじや整理をした人が多く、業者の方も4月からかなり量が多くなっていると言われていました。なるほど・・・。



当日、お世話いただいたPTA本部役員のみなさま、大変お世話になりました。この活動での収益金は、子どもたちのために大切にに使わせていただきます。

※ 臨時休業中に、子どもたちはこんなことを考えていました。裏面をご覧ください。

臨時休業中に考えたこと ～6年学習ワークシートより～

今まで当たり前だった学校に行くことや友達と会えること、買い物に行くことができなくなりました。この当たり前のことができなくなり、家の中で過ごす日々はさみしく、楽しいことではありません。小学校生活最後の年なので、行事や勉強、その他いろいろな事をがんばろうとしていましたが、学校にも行けなくて不安になることもありました。

こんな時でも、散歩をしたり家の手伝いをしたりして、気分転換できることも考えるとともに、今、自分にできることを考え、実行しようと考えました。今していることが思い出となる日常になってほしいです。

徳島県初の感染者の方が、まわりの人からの差別により家を出て行ったと聞き、とても悲しい気持ちになりました。感染したその人は悪くないし、しかも治療して治っているのに、そんな差別があってはならないと思います。その人は、まわりの人のことを考え、絶対に拡大させてはならないと思っていたのに、その思いが伝わらなかったのは悲しいことです。

長い休みが続き、自分で「今、何をすべきか」を考える機会となりました。まずは、勉強です。勉強を自分で進め、自分に力をつけるタイミングだと思い、自主学習をがんばりました。次に、運動をして、体をきたえることです。学校で体を動かしている分、家でもいろいろな運動をしたいです。早くコロナに打ち勝ち、安全でいつも通りの生活にもどりたいです。

3月に急に学校が休みとなり、最初は「春休みが長くなる」と喜んでいましたが、さらに休みが延びたため、不安な気持ちが芽生えてきた。今、ぼくは、この新型コロナウイルスの脅威を乗り越えるためには、「ネガティブに考えるのではなくポジティブに考える」ということが大切だと感じている。例えば、「暇だなあ」と考えるよりも「いろいろなことができる」と考えた方が、時間を有効に使えると思った。

今、日本では新型コロナウイルスの感染者数が減りつつある。しかし、このような時に、規制と気を緩めてはならない。この時に思い出すのが、ナポレオンの「戦いの最大の危機は、勝利の一瞬にあり」という名言だ。昔流行したスペイン風邪ではいったん収束しかけたが、規制を緩めてしまい、さらに死者数が増えてしまったらしい。この名言を胸に刻み、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底し、人ごみをさけ、これまでのように生活していきたい。先人の言葉や過去の過ちを生かして生活していこうと思う。

～ 子どもたちも、いろいろなことを感じ、考えているのですね。 ～